

6. キャンプフィールドコンセプト

KANUMA Meadow camping

鹿沼型原っぱキャンプフィールドの創出



南摩川によって作られた段丘の台地

広々とした原っぱ

人工物の少ない粗野な景観

現存植生を尊重し、環境の多様化を図り生き物と共生する

水源地域の豊かさを体感し、みんなで育てる

出会いの森キャンプ場とは異なる 個性的な上南摩のキャンプフィールドの創出

6. キャンプフィールドコンセプト

粗野＝荒々しい、洗練されていない

1)フリーサイト中心の構成



2)舗装は土になじむように選定する



3)人工物はサイトに入り込まない場所に配置する



4)区画サイトも人工的に区切らない



5)均一な芝ではなく種類の混じったメドウ



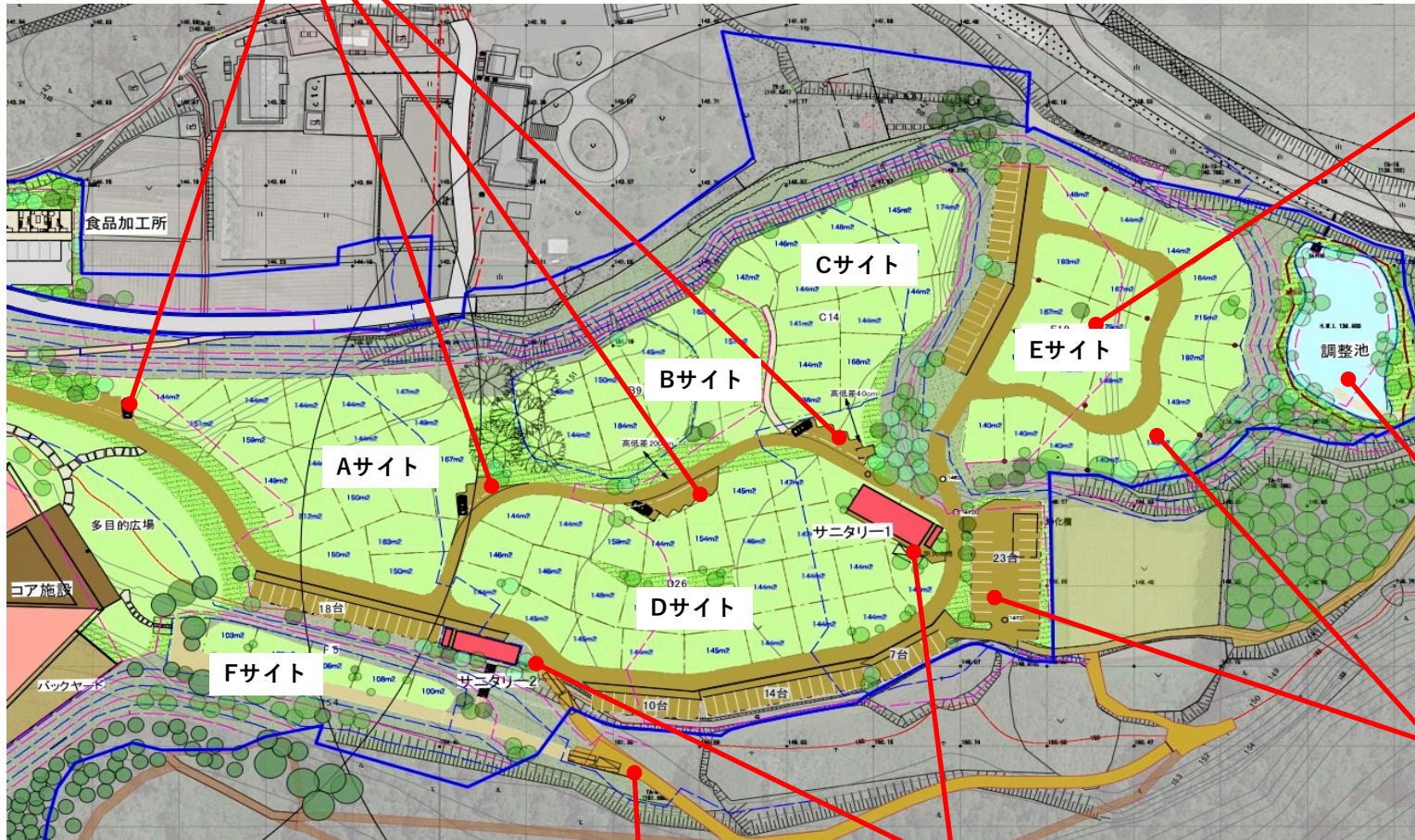
6)季節変化を彩る植栽



7. キャンプ場平面計画

A/B/Cサイトの荷下ろし
前面園路は一方通行

- ・キャンプサイト1区画 12m×12mとする
- ・粗野なメドウの印象を基調としてフリーサイトを基本とする
- ・日当たりが良く、地形的に下がった場所(Eサイト)へ区画電源サイトを配置
- ・メイン動線と駐車スペースは山側にまとめ、粗野感を崩さないようにする
- ・A・B・Cサイトは駐車場から遠いので荷下ろしを設け、ループ状に車両が進入できる動線を設ける
- ・サンタリーは利便性と規模を考慮し2棟配置する



区画電源サイト

- ・冬の利用が多いため、日当たりの良い場所に配置
- ・敷地の高低差を利用し駐車場を目立たせない
- ・一方通行園路と荷下ろし
- ・電源ポールはできるだけ目立たないサイト奥へ配置する

調整池

- ・ダム工事完了後縮小し、キャンプサイトを広げることも可能
- ・運用後の状況を見て判断する



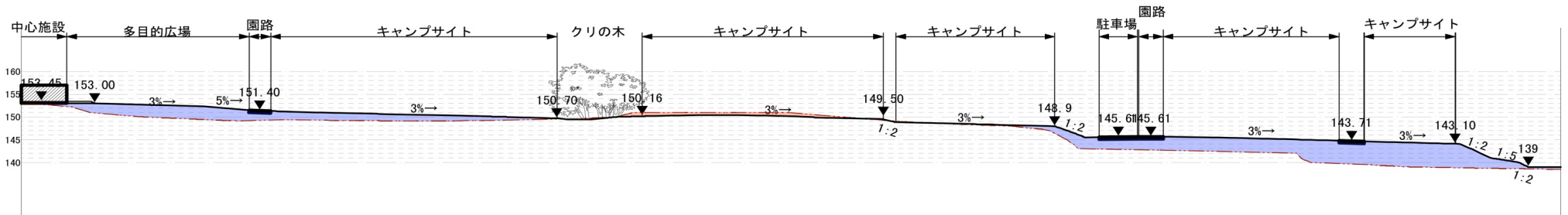
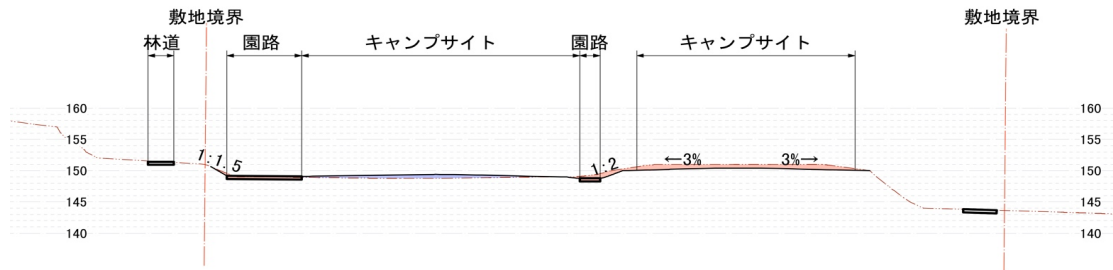
林道侵入箇所

サンタリー

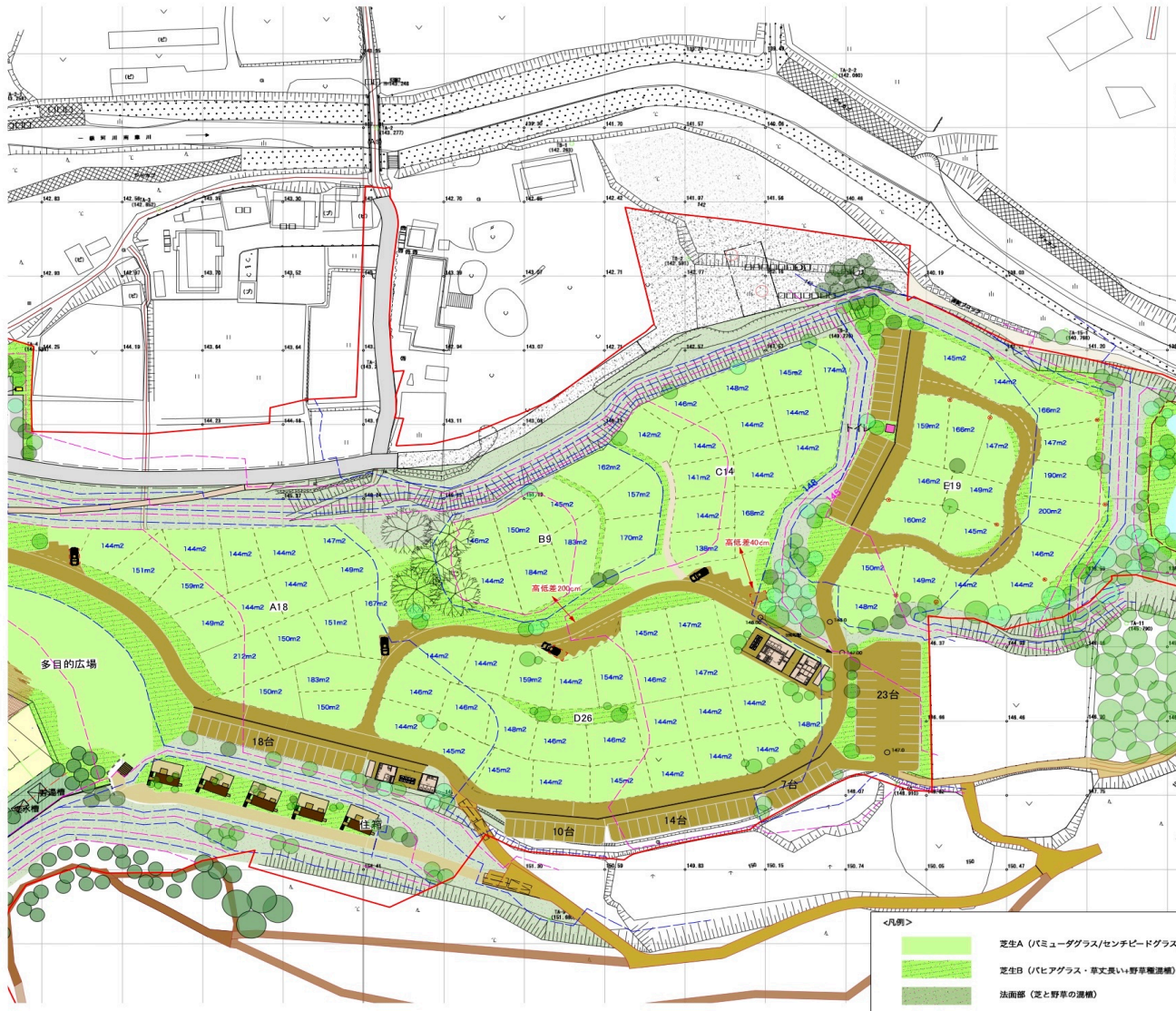
園路

駐車場や園路は砂利敷きでエッジを設けず自然に溶け込む

8. キャンプ場断面計画



9. キャンプ場植栽計画



Concept: Meadow Camping
 生物的多様性を内包するキャンプ場



芝生Bのイメージ



芝と野草の混植イメージ

10. キャンプ場植栽計画

草丈の違いを活用したサイトレイアウトの可能性

利用人数、季節に応じて柔軟に対応してサイトとサイトの間を刈り残した草で区切る方法も考えられる



・ 芝生の長さの違い
・ 芝生にクローバーなどが混じり込んでつくる景観



草刈りも均一ではなく変化を持たせることで植生の多様化が見られる

周囲に生える野草の種を蒔いたりすることで、四季を感じられる部分を取り入れる

現在の敷地の植生



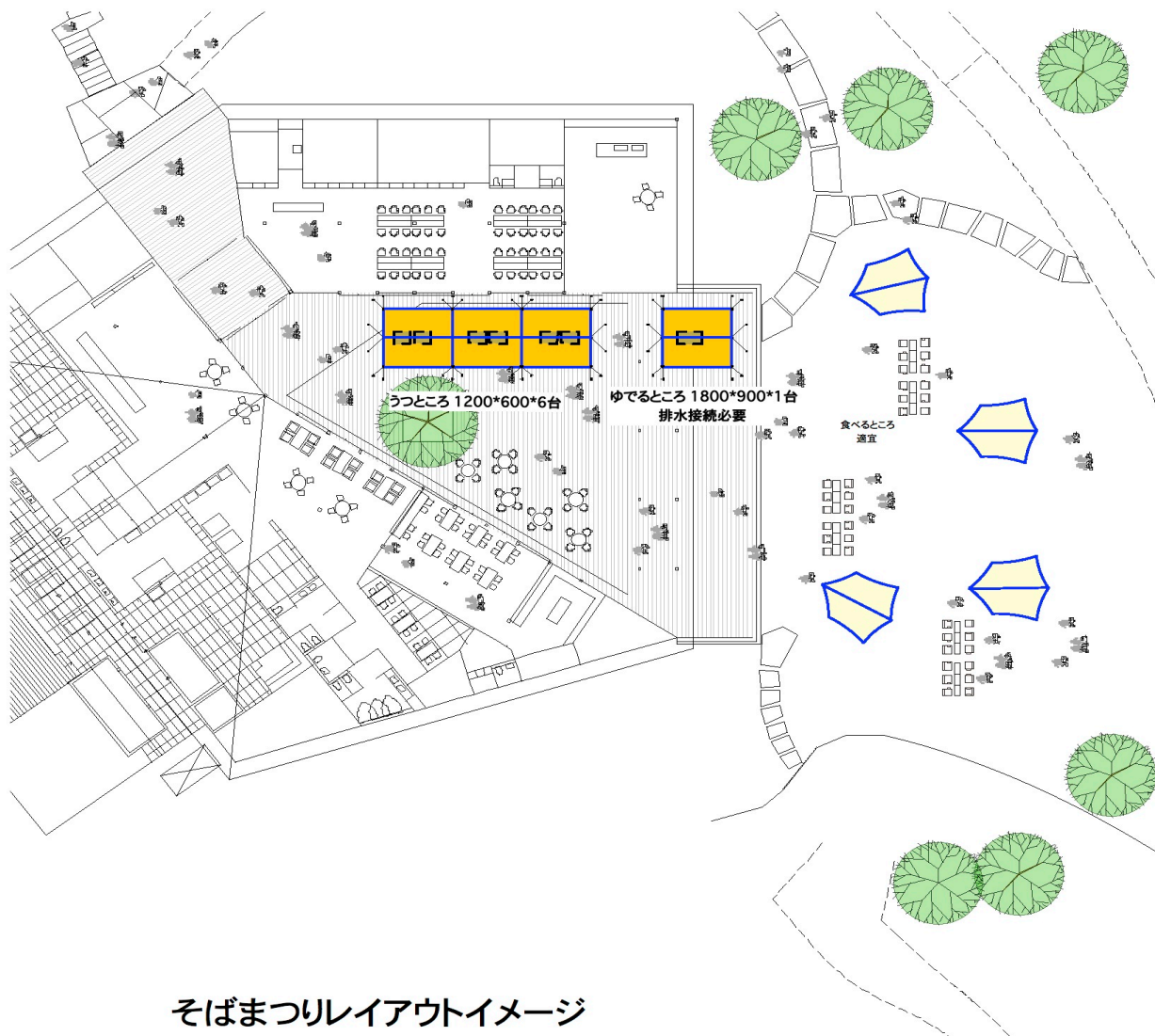
四季変化の草花を混植し新たなメドウを創出する



周囲に生える野草の種を蒔いたりすることで四季を感じられる風景にする。森の植生や周囲の里地植生を参考にする

鹿沼に自生の植物を混植し地域にふさわしい景観をつくる

11. 新そばまつりレイアウト



そばまつりレイアウトイメージ

現在公民館で行われている上南摩地区の新そば祭りをこの場所に会場を移して実施予定であるため、規模の検証を行う。
現在の会場レイアウトを参考に、コア施設の中庭と多目的広場を連続的に活用して展開できるようにしている。

Snowpeak製タープ スクエアエヴォPro
4,500mm * 5,000mm 4-6人用

27000

25000

そばをうつ 机6本

そばをゆでる 机1本

27m×25m
約700m2

食べる

<既存そばまつり会場の概略規模感>